

2024 年度

学生協働支援隊 豊栄地域

豊栄スマホ講座

1. 背景と目的

● 背景

高齢化が進行する豊栄町では、高齢者がスマホを所有していても、十分に活用できていないという実態がある。学生協働支援隊員の大学生は、スマホに詳しく、高齢者に対してスマホを教えることは可能ではあるが、学生協働支援隊員数は多くいるわけではなく、地域の需要に対応しきれない。そこで、学生協働支援隊員の大学生に加え、西条の「フリースクール あいびい」に通う高校生にも加わっていただき、豊栄町の高齢者にスマホの使い方を教える講座を実施する。

● 目的

- ①スマホ講座を開催し、豊栄町の高齢者がスマホでできることを少しでも増やす。
- ②高校生の社会教育の場となり、地域住民から感謝される講座を実施する。

2. 実施概要

【乃美地域】

日時：7/17 日（水）10:30-12:30

7/24 日（水）9:30-11:30

内容：LINE の登録（電子回覧板の準備として東広島市の公式ラインを追加）
（＋困ったこと相談会）

【能良地域】

日時：7/9 日（火）9:30-11:30

内容：LINE の基本的な使い方講座
困ったこと相談会

3. 実施結果

- 7/9 <https://photos.app.goo.gl/KrqLXaT1jogAfNqc6>
- 7/17 <https://photos.app.goo.gl/JQ5ovtebeiZTQrFr7>
- 7/24 <https://photos.app.goo.gl/HijDQ7fEUemUnwi58>

4. 今後に向けて

本事業を終え、高校生が地域でスマホ講座を実施することは、高校生と地域の双方にとって、メリットのある活動であることが分かった。本講座実施上の注意事項や講座形式の改善点を整理し、今後の講座実施に向けて準備を行う。

【地域との顔合わせ】

【日時】2024年4月1日（月） 10:00～11:00

【場所】乃美地域センター、能良地域センター

【参加者】合計8名（学生3名、コーディネーター3名、地域4名、市0名）

【内容】

● 実施内容

地域との顔合わせ実施のために、乃美地域センターと能良地域センターを訪問した。スマホ講座の内容や講座の日時、事前の準備等の検討事項について、地域側と話し合いを実施し、講座の内容や日時について決定した。基本的には、高校生が講師としてスマホ講座を実施し、大学生が高校生のフォローを行うことになった。



乃美地域センターでの顔合わせ



能良地域センターでの顔合わせ

● 今後に向けて

講座当日参加できる大学生数や高校生数を把握や、フリースクールあいびいへの訪問及びスマホ講座についての説明、地域住民への広報などを今後実施していく。

【当日の感想】

大学生が当たり前のように使っているスマホでも、高齢者にとっては、あたりまえでないことがたくさんあることが分かった。できるだけ、カタカナ用語を使わないようなスマホ講座を実施できるようにしたい。

【高校生と接し方に関する勉強会】

【日時】2024年5月10日（金） 21:00～22:00

【場所】市民協働センター

【参加者】合計15名（学生11名、コーディネーター3名、地域1名、市0名）

【内容】

● 実施内容

高校生との顔合わせに向けて、フリースクールあいびいから講師を招き、高校生との接し方についての勉強会を実施した。勉強会では、フリースクールあいびいに通う高校生の特徴や高校生と接する際の気持ちの持ち方、高校生と信頼関係を築くために意識することや注意することを学んだ。実践形式で学ぶ場面もあり、言葉だけで物事を伝えることの難しさを体験した。



講師から説明を受けている様子

● 今後に向けて

フリースクールあいびいの高校生との顔合わせや地域との企画調整の実施、スマホ講座の資料作成を行っていく。

【当日の感想】

普段の大学生活においての友人関係等では、気にしていない言動が、フリースクールあいびいの高校生と接する際には、気を付けなければならないことを学んだ。気を使いすぎるとかえって、不自然な言動になってしまうことも考えられるが、学んだことを気に留めながら、高校生と接したい。

【地域との打ち合わせ】

【日時】2024年6月3日（月） 10:00～12:00

【場所】乃美地域センター、能良地域センター

【参加者】合計6名（学生1名、コーディネーター1名、地域3名、市1名）

【内容】

- 乃美地域センターと能良地域センターを訪問し、スマホ講座の打ち合わせを実施した。スマホ講座当日のスケジュールや講義資料、金銭面のやり取りに関して、地域側に確認を取り、スマホ講座の内容が確定した。地域側の心配事は、高校生と参加者のコミュニケーションに関してであり、特に、「ダウンロード」「インストール」といったカタカナ言葉が参加者に通じない場合が多いとのことであった。



乃美地域センターでの打ち合わせ



能良地域センターでの打ち合わせ

- 今後に向けて
フリースクールあいびいの高校生との顔合わせに向けて、地域側の意見を組み込んだ発表資料を作成する。

【当日の感想】

スマホ講座当日の学生協働支援隊員は、高校生のフォロー役として活動すると共に、地域住民と高校生の通訳的立ち位置としてコミュニケーションが円滑にできるような立ち回りも求められると考えられる。

【フリースクールあいびいへの説明会】

【日時】2024年6月13日（木） 13:30～14:30

【場所】フリースクールあいびい

【参加者】合計24名（学生3名、コーディネーター1名、高校生17名、教員3名、市0名）

【内容】

- フリースクールあいびいを訪問し、高校生に対してスマホ講座の説明会を実施した。スマホ講座の講座内容やスケジュール、講義資料について説明を行った。高校生から質問が飛んでくるなど活発な説明会となった。また、高校生と大学生のアイスブレイクでは、想定以上に盛り上がり、高校生と大学生のよい交流の機会となった。



説明会の様子



アイスブレイクの様子

- 今後に向けて
スマホ講座当日に向けて、講座の流れや司会進行の計画を立てるとともに、地域側とフリースクールあいびい側と連絡を取りながら、講座の細部を詰めていく。

【当日の感想】

事前申し込みのあった高校生のほぼ全員が参加しており、高校生のスマホ講座に対するやる気うかがえた。高校生と接する際には気を付けることがいくつかあるという意識で本説明会に臨んだが、説明会とアイスブレイクの両方で、楽しく笑いながら交流する会となった。スマホ講座当日も今回の説明会と同様に、高校生と楽しく活動ができるように準備していきたいと思う。

【第 1 回 豊栄スマホ講座】

【日時】2024 年 7 月 9 日（火） 9:30～11:30

【場所】能良地域センター

【参加者】合計 20 名（学生 2 名、コーディネーター1 名、地域 10 名、高校生 6 名、教員 1 名）

【内容】

- 能良地域センターにて第 1 回豊栄スマホ講座を実施した。高校生が参加者にマンツーマンで指導する予定ではあったが、参加者が想定よりも多くなったため、高校生 1 人が参加者 2 人の指導を行っている場面もあった。講座の開始前は緊張している高校生もいたが、講座が開始してからは、参加者と話すことで、緊張が緩和されているようだった。



スマホ講座の様子



休憩中の様子

- 今後に向けて
次回のスマホ講座に向けた課題として、休憩時間や空いた時間の過ごし方に関する課題が上がったため、会話カード等を準備することで対応を行う。

【当日の感想】

初回のスマホ講座ということで、どのような問題が生じるか心配であったが、大きな問題は生じなかった。高校生と参加者がお互いのことを思いながら、講座を行っていたため、マンツーマン指導で十分対応できていた。また、休憩時間を多めにとることで、2 時間の講座を高校生がやり遂げることができたのではないかなと思う。

【第2回 豊栄スマホ講座】

【日時】2024年7月17日（水） 10:30～12:30

【場所】乃美地域センター

【参加者】合計21名（学生2名、コーディネーター1名、地域10名、高校生7名、教員1名）

【内容】

- 乃美地域センターにて第2回豊栄スマホ講座を実施した。第1回に参加した高校生とは全く異なる高校生が参加したため、緊張している高校生が多かった。今回はスマホ講座を開始する前に、高校生と大学生が会話カードを使った会話をする事で、緊張感をほぐすことができたのではないと思う。第1回と同様な流れで、講座自体は進行していった。



スマホ講座の様子



振り返り時の様子

- 今後に向けて
地区によって、高校生と参加者の関係性が変化し、高校生の活動のしやすさが変化している。参加者に対して高校生が全て対応できるわけではないということを参加者に伝え、参加者側が心構えを持ち、参加してもらう必要があると考える。

【当日の感想】

第2回は、LINEをインストールしていない参加者がいるなど、スマホに詳しくない参加者が多かった。そのため、高校生の発する初歩的な専門用語を参加者が理解できないというコミュニケーションのすれ違いが見られた。ただ、高校生は何とか参加者が理解できるように、紙にイラストを書いて伝えようとするなどの工夫が見られた。

【第3回 豊栄スマホ講座】

【日時】2024年7月24日（水） 9:30～11:30

【場所】乃美地域センター

【参加者】合計16名（学生2名、コーディネーター1名、地域6名、高校生6名、教員1名）

【内容】

- 乃美地域センターにて第3回豊栄スマホ講座を実施した。スマホ講座に一度参加したことのある高校生は、教え方や言葉の選び方を工夫して、参加者に伝わりやすい指導を実施していた。初参加の高校生については、ミスをしてしまうこともあったが、大学生や教員がフォローに回することで、うまく対応できた。



スマホ講座の様子



振り返り時の様子

- 今後に向けて
スマホ講座を3回実施したが、高校生や参加者の属性によって講座の難易度が全く異なることがわかった。今後もスマホ講座を高校生が行うのであれば、講義内容や講義方法について、再度検討することが必要である。特に、LINEだけに講義内容を絞らず、スマホ全般に関する講座にした方が、高校生も教えやすかったと思う。

【当日の感想】

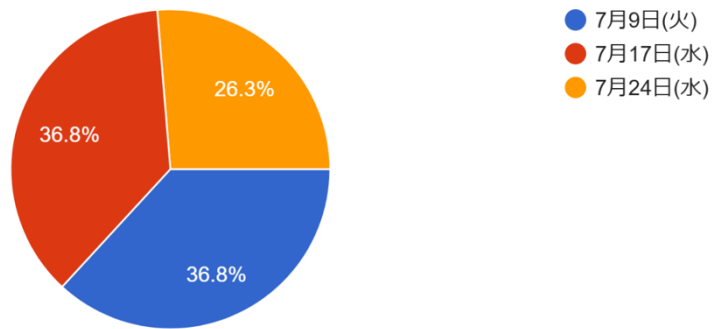
今回は、参加者のLINEを高校生がアンインストールしてしまうという問題が生じたが、大学生がうまくフォローしていた。高校生はスマホに関する知識は多いが、何かあった時や想定外の事態が発生した時の対応は困難な場合が多い。問題が生じた際に、臨機応変に対応できる大学生がいることが重要であると思った。

【豊栄スマホ講座アンケート結果（高校生）】

【参加日程】

参加日程

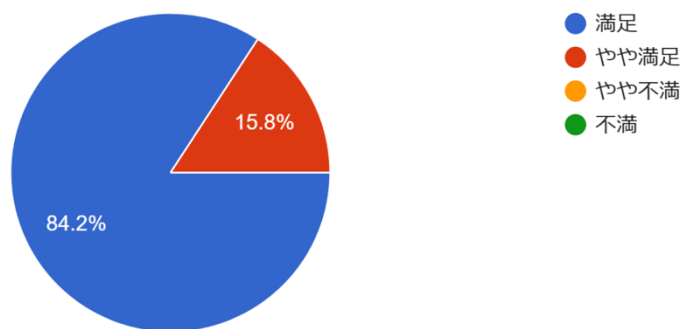
19 件の回答



【スマホ講座の満足度】

スマホ講座の満足度

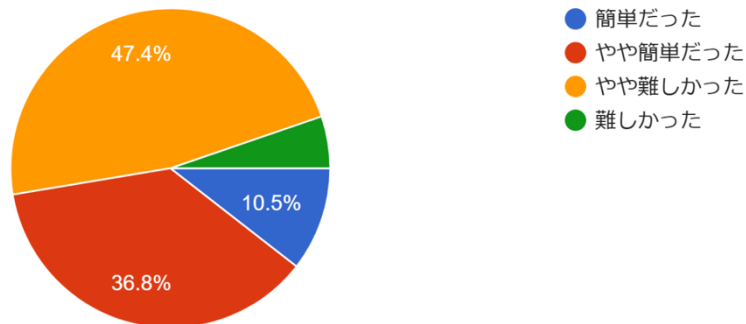
19 件の回答



【スマホ講座の難易度】

スマホやLINEの使い方について、豊栄町の住民に教えることは

19 件の回答



【スマホ講座で苦労したこと（一部、抜粋）】

- 朝起きること
- LINE を間違えてアンインストールしてしまったため
- 難しい質問をされたときに、応答することが大変でした
- LINE 以外のことを聞かれた時に、すぐに答えられなかった
- お相手の方が、何が分からないのか分からないとこちらも少し大変でした
- 相手の知りたいことを聞き出すこと
- Amazon の登録の仕方や、PayPay の使い方は私自身あまり知らなかったので、少し教えるのが大変だった
- 言葉が通じない
- 分かりやすく教えること
- 教えた相手があまりにも知りすぎていた
- 自分でも知らなくて説明が難しいラインの機能があったこと
- カタカナ用語を言い換えて伝え直す事

【スマホ講座の改善点（一部、抜粋）】

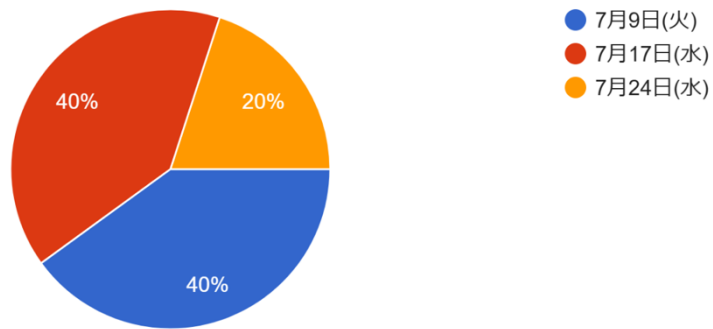
- 他の機種などをいろいろと知っておく必要があると感じた
- 2 人を 1 人で相手するより、1 対 1 の方がいいと思う
- 参加者の人に渡す資料が作りこんでいた方がいいと思った

【豊栄スマホ講座アンケート結果（参加者）】

【参加日程】

参加日程

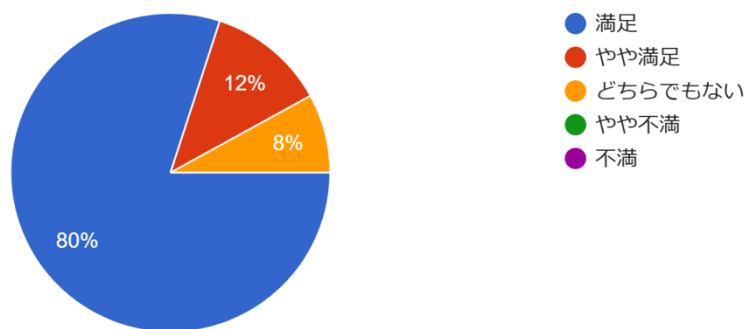
25 件の回答



【スマホ講座の満足度】

スマホ講座の満足度

25 件の回答



【満足度の理由（一部、抜粋）】

- いろいろんことを聞いても、親切に答えてもらいとてもよかったと思います。
- 教えていただきたいことがわかりました。心の窓が少し開きました。
- 友達とのラインができるめどがついたので、とっても嬉しいです。覚えているうちにやってみたいと思います。
- 若い人から元気をもらいました。スマホにこんなに色々な機能があるとは思いませんでした。
- マンツーマンの指導で聞きやすかった。
- まだ、教えてほしかったけど、自分の時間が足りなかった。またやってほしい。
- わからないことだらけで、個人情報のこともあり、スマホをタッチすることが不安でしたが、一つ一つ教えてもらうことで安心感があったり、勉強させてもらいました。教えてもらったことを活用していきたいと思います。
- LINE の友だち登録が少し理解できたような気になった。
- 操作で便利な機能を知ることができた。
- ポータルサイト等の登録の仕方をもっと簡単にしてほしい。高齢者には難しい。
- 1 回ミスがあり、履歴が消えました。

【スマホ講座以外で行ってほしい講座】

- 交流会、モノ作り
- ゲームの仕方
- 農業、稲刈り、ゲーム、そば作り
- パソコン講座
- 災害情報関係のスマホ利用

【学生協働支援隊員の感想】

- LINE の講座に限定することで、LINE に詳しい高校生でなければ対応できない状況になっていたのに、LINE に限定せず、スマホに関する講座にした方が、教える内容が広く浅くなり、高校生としては対応がしやすいのかもしれないと感じた。また、LINE をマスターしている参加者も多く、LINE 以外のスマホ講座を求めている参加者も多かった。
- 参加者のスマホ理解度は、人によって全く異なるので、司会進行によって進度を合わせるよりも、今回の講座のようなマンツーマン指導が効果的だと思う。ただ、教えることに慣れていない高校生もあり、学生協働支援隊が常にフォローしなければならない場合もある。そのため、高校生に対する支援や教育が重要になると思う。また、高校生と参加者の関係性が高校生の活動しやすさに影響を与えるため、高校生と参加者がわからないことを一緒に解決していく交流会としてスマホ講座を実施し、高校生の負担を減らすとよいと考える。
- 高校生と年齢が近い大学生の学生協働支援隊が心のよりどころとなることが講座を円滑に進めるために重要であると考えられたが、学生協働支援隊としても高校生とどのように接していいのかは未知数であった。そのため、スマホ講座の前に、アイスブレイクを中心とした高校生と大学生の顔合わせが盛り上がったことが、スマホ講座が成功した要因ではないかと思う。